

月報 白樺

ALPINE CLUB / WHITEBIRCH NAGANO

1月の活動予定

1月11日(火) 第一例会

1月18日(火) 第二例会

1月8日(土) 杓子山

CL:

2月の活動予定

2月1日(火) 第一例会

会費納入について

今年度(2021年度)の会費未納の方は必ず、下記口座までお振込みください。

八十二銀行
普通預金
山岳クラブホワイトバーチ長野
会員：6000円
会友：2000円

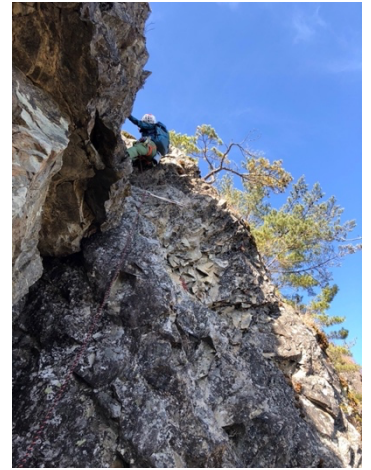
10・12月の活動報告

10月30日 天狗山ダイレクト

参加者:

新型コロナウイルスが猛威を振るうようになり、全く外出していなかった私にとっては本当に久しぶりの早朝の出発。まだ暗く静かな道を車を走らせた。更埴 IC 近くで待ち合わせ馬越峠に向けて出発した。佐久市に着く頃には日は登っていたが、南相木村の日陰は薄っすら白い…霜が降りていた。暖冬なのかすっかり季節感を感じてない私はもう11月になるんだと改めて感じた。しばらくすると岩は滑るのではないかと不安も出てきた。

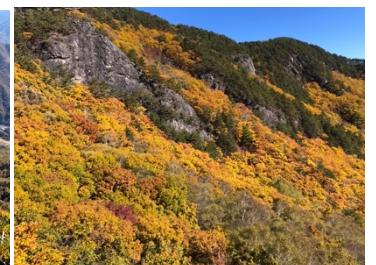
8時馬越峠駐車場着。霜の心配もありゆっくりと準備し出発。分岐点の看板でジオグラフィカに印をつけ取り付きに向け降りていく。ネットで軽く調べただけの情報では不足にアドバイスして頂きながら取り付きの岩までどうにか辿り着いた。



9時登り始める。霜の心配もなさそうだ。クライミングシューズに付いた土汚れを落とし登り始める。久しぶりの岩の感触…。楽しい。塞いでいた気持ちがほぐれていく。脆い岩もあり、確認しながら高度を上げていく。ハンドジャムで登る経験も出来た事もあり楽しくてしょうがない。周りを見渡すと眼下には川上村の農場が広がり山は黄金色に紅葉した木々がとても綺麗に見える。こんな景色を誰にも邪魔されずに堪能できるのもバリエーションルートならではの贅沢な時間だ。気がつけばもう8Pを登ってしまっていた。もう終わってしまったと寂しい気持ちを抑え靴を履き替え山頂まで歩く。13時天狗山山頂。私はピークが好きみたいだ。看板を見つけるとやはりテンションが上がる。記念撮影をし、山頂で会った登山者と写真の撮り合いっこ。これは登山での醍醐味だ。少し休憩を取り下山する。神保さんと色々な話をしながら歩いていく。山歩きは人の距離を縮めてくれるから不思議だ。



14時駐車場に到着し帰路に着きましたが、少し遠回りして川上村のナナーズというスーパーへ寄道することに。隣には登山用具店がありウインドウショッピングも楽しませていただきました。本当に楽しい一日だった。1年以上山歩きをしていなかった私は山の偉大な力を感じ癒されたのは





明らかでした。ザイル
パートナーとして私は
力不足でしたが、神保
さんには時間を割いて
頂いた上、ご一緒に登
らせて頂き本当に感謝
してもしきれません。そ
して、天狗山ダイレク
トのコースは取付までの
距離も程よく、久しぶ
りの私でしたがクライ
ミングを楽しめる山で
した。反省点も多々あ
りましたが、改めて山
の良さが

感じる事が出来たのも神保さん始め WBN の皆様のお陰
です。ほんとにありがとうございました。

12月12日(日) 傘山

天 候:晴

参加者:

傘山(からかさやま)と聞いて、はてな??どこにある山??
恥かしながら何の知識も持ち合わせていない。文明の利器

を少し使って調べると、なんと魅力的な山!二つのアルプ
スが望め豊かな自然。傘寿になつても登りたい山と言う。山行日が
待ち遠しく感じられた。

南アルプスを眺めながら駒ヶ岳
IC から飯島町へ。今回は御嶽
山コースを登る。登山口には
駐車場が整備され山案内板
も設置されている。民家のす
ぐ後にあるフェンスのゲート
を開けて入り登山開始。御嶽
山の松並木の看板があり、ど
んな並木かと興味津々に足
を運ぶ。まもなく「一の松」
の大木、「二の松」は枯木で倒
されている。「三の松」の根元
にはユニークなお顔の通力
不動尊が祀られていた。

四から九の松まで推定樹齢
400年と言われる巨木をたど
ると御嶽山頂に到着。神社と
休憩所があり南アルプスの展
望が良い。きれいに整備され
た登山道は緩やかで身体に
やさしく、樹木にはプレートが
付けられ、エゴノキ、ヤマボウ
シ、ここらまではフムフムと、
ヤシヤブシ、ネズミサシ、ネジ
ユ、ミズメ、イヌシデとなる



と??葉を落とした木々は
皆同じに見えてしまう。
岩間山城跡を過ぎしばらく
快適な尾根道を進んだが
一気に急登となり「入口屋」
と刻まれた石碑に到着。緩
やかな九十九折れを進む
と右側に植林された
ヒノキが古いフェン
スに守られている。
ブナの大木も現れ
始めた。頂上まで
1.5k75分の標識を
過ぎて大きな岩の
間を過ぎると急斜面
を大下りする。ひと



山越えてしまう程の下りに帰路が思いやられる。カラマツ林
を緩やかにトラバースし、ロープのある急斜面に汗を流す
と、ブナ林の尾根に出た。200m10分の標識に励まされ、
切り株を乗り越えて三角点のある山頂着。南アルプスの山
並みが一望、塩見岳のみが雲の帽子を被り、振り返れば中
央アルプスの仙涯嶺、南駒ヶ岳、空木岳が白く陰しくそび
え、暫く景色に見とれた。

軽く昼食を取り、来た道に戻る。冬本番前の小春日和に素
晴らしい里山歩きができた事に感謝した。下山後は南信名
物の「ソースかつ丼」を食し、心もお腹も満ち満ちた一日だ
った。

長野(梅木屋) 5:30	—	駒ヶ岳 IC	—	御嶽山登山口
7:25/7:40	—	御嶽山	7:57	
—	傘山	10:00/10:30	—	御嶽山 11:55
			—	登山口 P 12:15